

「最近の機械貿易動向(7月)～機械輸出伸び率 18ヶ月連続プラス～」

日本機械輸出組合 2018.9.20

平成30年7月の機械輸出額は4兆3,223億円、対前年同月比1.6%増と、18ヶ月連続でプラスとなった。これは、①北米、韓国・台湾向けを除く4地域向けがプラス成長となったこと、②産業機械をはじめ、主要な14輸出業種がプラスとなったことなどによる。為替・営業日要因が4.4%の増加寄与要因だったことを考慮すると、実質的な伸び率は2.8%減となった。平成30年8月の為替・営業日要因は4.7%の増加寄与要因となっているが、9月19日発表の貿易統計速報による簡易計算では8月の機械輸出は7.4%増であった。

I 要約

1. 全商品貿易動向(図表1)

- ① 全商品輸出額:6兆7,479億円(前年同月比 [以下同じ] 3.9%増、20ヶ月連続プラス)
- ② 全商品輸入額:6兆9,799億円(14.6%増、4ヶ月連続プラス)
- ③ 貿易収支:2,319億円の赤字

2. 機械貿易動向

(1) 機械輸出入動向(図表2)

- ① 機械輸出額:4兆3,223億円(1.6%増、18ヶ月連続プラス)
為替・営業日要因を除いた実質的伸び率:2.8%減(22ヶ月ぶりマイナス)
- ② 機械輸入額:2兆1,570億円(8.2%増、再びプラス)

(2) 為替・営業日動向

2018年7月に4.4%の増加要因、8月に4.7%の増加要因、9月に8.8%の減少要因となる。

(3) 地域別動向

- ① 北米、韓国・台湾向け以外の4地域向けがプラス(図表4、5)
- ② 北米向け:7.8%減、2ヶ月連続マイナス(図表4、5)
- ③ 中国向け:12.6%増、5ヶ月連続プラス(図表4、5)
- ④ ASEAN・南アジア向け:7.2%増、20ヶ月連続プラス(図表4、5、6、8、9)
- ⑤ EU向け:1.7%増、2ヶ月連続プラス(図表4、5)
- ⑥ 韓国・台湾向け:5.3%減、6ヶ月連続マイナス(図表4、5、6、7)
- ⑦ その他地域向け:2.0%増、13ヶ月連続プラス(図表4、5、10)

(4) 業種別動向(図表11)

上位21業種中14業種がプラス。そのうち3業種が二桁の伸び

(5) 機種別動向(図表12、13)

- ① 鉄道車両(EU向け中心)、コンデンサー等部分品(中国、北米、ASEAN・南アジア向け中心、3ヶ月連続上位)、建設機械(北米、その他地域向け中心、6ヶ月連続上位)等が大きくプラス
- ② 電気・電子計測器(中国、ASEAN・南アジア向け中心、4ヶ月連続上位)も好調に輸出が継続
- ③ 船舶、通信機械部分品、産業用ロボット等が大きくマイナス

(6) 機械輸入動向(図表14)

- ① 機械輸入額上位12機種のうち、10機種がプラス
- ② そのうち航空機・部品等、携帯電話、乗用車等5機種が二桁のプラス

II トピックス

1. 【韓国】経済成長が減速

韓国の2018年第2四半期(4-6月)の経済成長率は、前期比0.7%増と低い水準にとどまった(前年同期比では2.9%増)。設備投資が同6.6%減と大きく減少したことが響いた(前期は3.4%増)。輸出は前期比0.8%増と減速した。韓国の株価指数も下落を続けている。韓国銀行は、2018年の経済成長率の見通しを2.9%に下方修正した。

経済成長の鈍化を受けて、韓国政府は規制緩和を加速させる構えであり、ネット銀行への規制緩和などを推進する。

今年に入り、NANDの価格が大きく下落しており、サムスンやSKハイニックスが投資を削減する予定。半導体製造装置メーカーにとっては影響を受ける可能性がある。

また、パネルメーカーのLGディスプレイは、営業損益が2四半期連続の赤字となっており、液晶向け設備投資を3兆ウォン程度削減。液晶製造装置メーカーにとっては影響を受ける可能性がある。

2. 【ベトナム】経済が好調。政府の産業育成も進展

ベトナムの2018年第2四半期(4-6月期)の経済成長は、前年同期比6.8%増となった。製造業が好調で、住宅・インフラなど建設部門も伸びた。IMFは、2018年通年では6.6%成長になると予測しているが、それを上回る可能性も指摘されている。2017年のベトナムに対する外資の直接投資額は、前年に比べて44.4%増の358億8,300万ドルとなった。

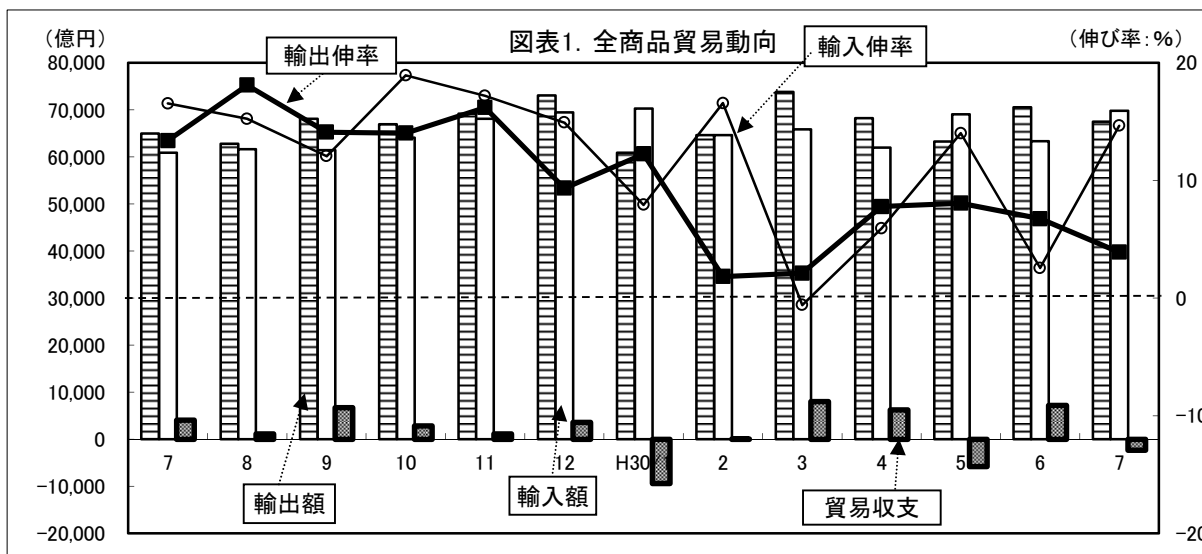
ベトナム政府は「2020年までに工業立国達成」を戦略目標に掲げており、産業育成に乗り出している。特に成果が見られるのが、スマホや自動車分野である。2014年にサムスンが進出して以降、スマホ関連の地場部品メーカーの層が厚みを増してきた。サムスンは、2020年には地場企業50社から調達する方針を掲げている。ビンググループ、アサンゾなど地場企業もスマホ生産に乗り出した。また自動車分野では、ビンググループは米GMと提携、2019年にベトナム初の国産車を発売する構えである。

小売業にも注目が集まる。約9,460万の人口を有するベトナムは、将来の有望市場とみなされており、外資企業の進出が相次いでいる。

Ⅲ 個別動向

1. 全商品貿易動向～輸出は20ヶ月連続プラス、輸入も4ヶ月連続プラスへ～

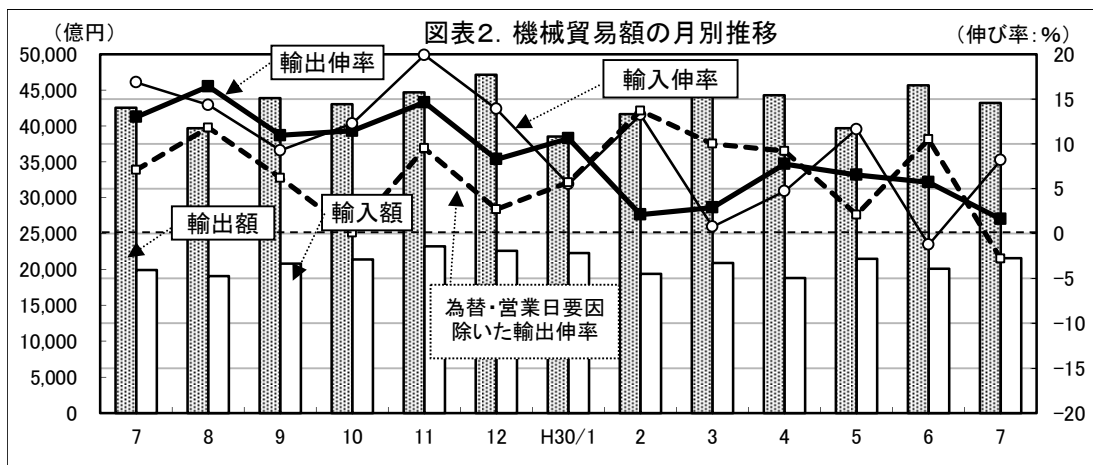
- 1) 平成30年7月の全商品輸出額は**6兆7,779億円**、前年同月比(以下同じ)**3.9%増**と20ヶ月連続でプラスとなった(6月6.7%増)。これは、全輸出額の約22%を占める輸送用機器(4.0%減)がマイナスとなったものの、約20%を占める一般機械(4.8%増)、約18%の電気機器(7.1%増)、鉄鋼・非鉄金属等原料別製品(7.1%増)、プラスチック等化学製品(10.9%増)等がプラスとなったためである。
- 2) 輸入額は**6兆9,799億円**、**14.6%増**と4ヶ月連続でプラスとなった(6月2.6%増)。これは、全輸入額の約23%を占める原粗油等鉱物性燃料(30.7%増)をはじめ、約14%の電気機器(7.0%増)、約11%の医薬品等化学製品(28.8%増)、約10%の一般機械(6.7%増)等がプラスとなったことによる。
- 3) この結果、輸出額から輸入額を差し引いた貿易収支は、約2,319億円の赤字となった。(6月は7,208億円の黒字)。



2. 機械貿易動向

(1) 機械輸出入動向～輸出は18ヶ月連続プラス、輸入は再びプラスへ～

- 1) 全商品輸出額の約64%を占める7月の機械輸出額は**4兆3,223億円**、**1.6%増**と18ヶ月連続でプラスとなり(6月5.7%増)、その水準は、リーマンショック前(2008年7月)と比べると**85.9%**となって、前月に比べて9.5ポイント悪化した(6月95.4%)。なお、為替・営業日要因を除いた**実質的伸び率は2.8%減**であった。
- 2) 一方、全商品輸入額の約31%を占める機械輸入額は、**2兆1,570億円**、**8.2%増**と再びプラスとなり(6月1.2%減)、リーマンショック前(2008年7月)の水準に比べ、30.5%増となっている。

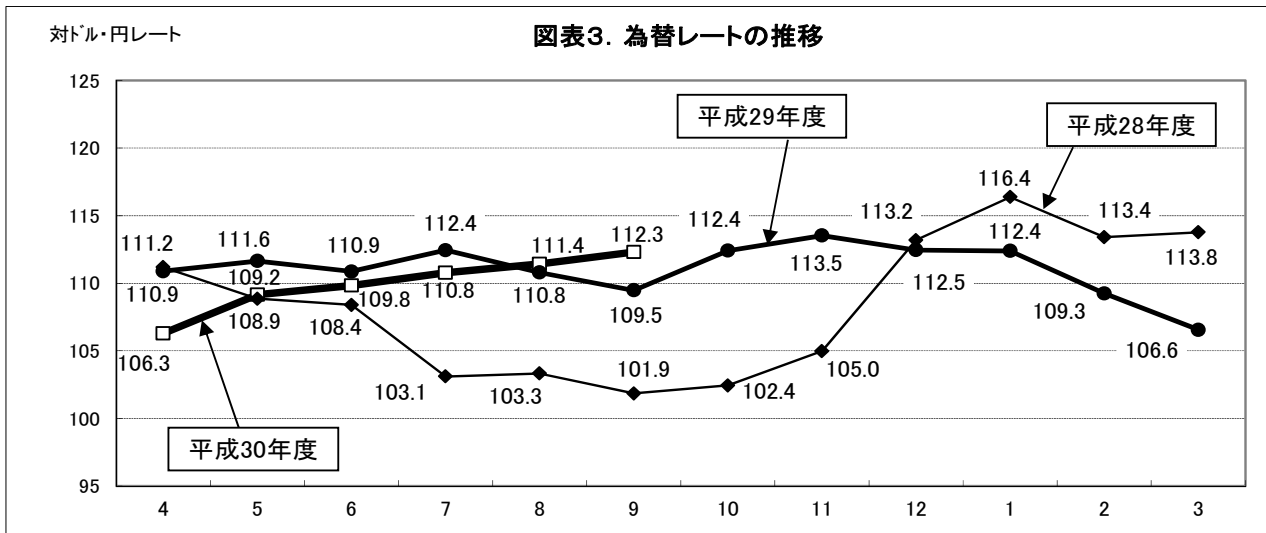


(2) 為替・営業日動向～7月は4.4%の増加要因、8月は4.7%の増加要因～

1) 2018年7月は1ドル=110.8円となり、前年に比べ1.4%の円高となった。また、対ユーロは128.8円と前年に対して1.2%の円安となり、合わせて約0.6%の為替減少要因となった。営業日は前年に比べて1日多いため、5.0%の増加要因となり、合計で約4.4%の増加要因となる。7月の輸出額は1.6%増であったことから、実質的伸び率は2.8%減と22ヶ月ぶりにマイナスとなった(6月10.5%増)。

2) 2018年8月は1ドル=111.4円で前年比0.5%の円安、対ユーロは129.2円で前年比0.5%の円高となり、合わせて約0.2%の為替増加要因となった。営業日は前年に比べて1日多いため、約4.5%の増加要因となり、合計で約4.7%の増加要因となる。

3) 2018年9月は、対ドルが9月20日17:00時点の112.3円とすれば、前年に比べて2.6%の円安、また、対ユーロは131.4円で0.9%の円安となり、合わせて約1.3%の為替増加要因となる。営業日は前年に比べて2日少ないため、10.0%の減少要因となり、合計で約8.8%の減少要因となる。



(3) 地域別動向～北米、韓国・台湾向け以外の4地域向けがプラス～

1) 機械輸出額の地域的動きをみると、①全体の24.0%を占める最大輸出先の北米向けでは、軽電気機械(5.0%増)、建設機械(11.0%増)がプラスとなったものの、全体の約51%を占める自動車(11.8%減)や産業機械(19.1%減)等が減少して7.8%減となった。②23.6%を占める中国向けでは、産業機械(36.6%増)、自動車(18.2%増)、電子デバイス(10.3%増)等が増加して12.6%増となり、③15.5%のASEAN・南アジア向けは、インド(41.9%増)、インドネシア(24.0%増)等が大きく増加し、業種では、自動車(4.4%増)、産業機械(4.6%増)、電子デバイス(19.9%増)等がプラスとなって7.2%増となった。④11.7%を占めるEU向けは、約34%を占める自動車(6.0%減)がマイナスとなったものの、産業機械(11.2%増)、軽電気機械(7.3%増)がプラスとなって1.7%増となり、⑤9.8%を占める韓国・台湾向けは、産業機械(15.2%減)、自動車(12.6%減)、電子デバイス(1.6%減)等が減少して5.3%減となった。⑥15.4%のその他地域向けでは、アフリカ(24.9%増)、ロシア東欧等(22.0%増)向けが大きくプラスとなり、機種では、船舶(26.1%減)等がマイナスとなったものの、自動車(8.3%増)、建設機械(22.1%増)等がプラスとなって2.0%増となった。

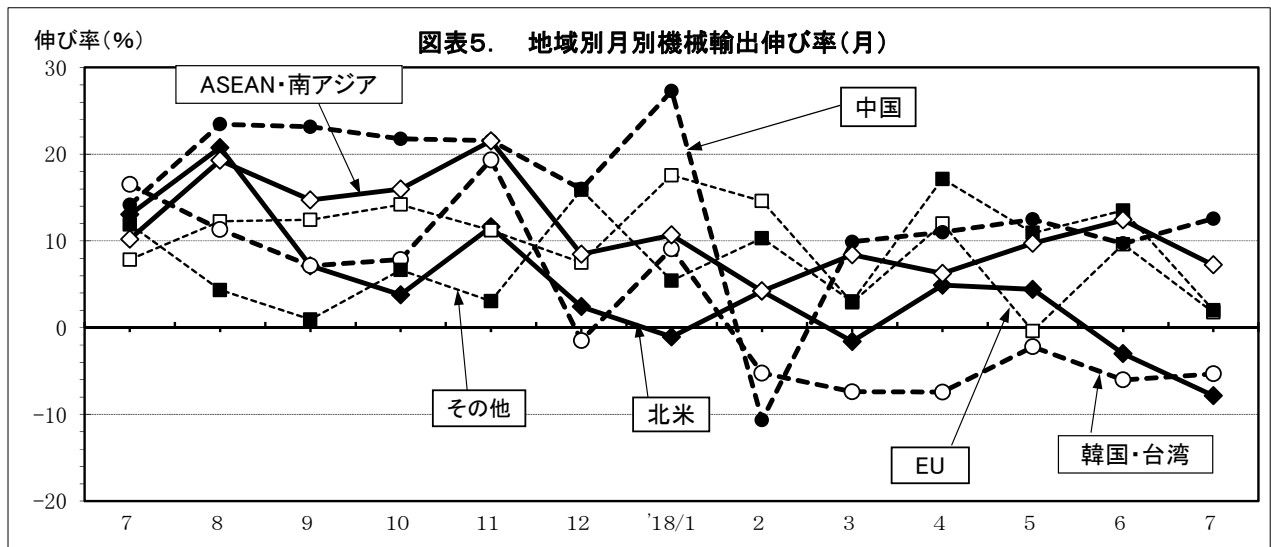
2) また、リーマンショック前の2008年7月の地域別輸出額と比較すると、中国、ASEAN・南アジアが100%を超え、韓国・台湾、北米向けが90%台、EU向けが60%台、その他地域向けが50%台となった。

図表4. 最近の地域別機械輸出動向

(単位: 億円)

	2018/5			2018/6			2018/7			対08年 7月比
	金額	伸び率	シェア	金額	伸び率	シェア	金額	伸び率	シェア	
全世界計	39,711	6.5	100.0	45,656	5.7	100.0	43,223	1.6	100.0	0.86
北米	9,446	4.4	23.8	10,691	▲ 3.0	23.4	10,360	▲ 7.8	24.0	0.93
中国	9,211	12.5	23.2	10,370	9.7	22.7	10,213	12.6	23.6	1.09
ASEAN・南アジア	6,091	9.7	15.3	6,839	12.4	15.0	6,696	7.2	15.5	1.05
EU	4,883	▲ 0.4	12.3	5,781	9.6	12.7	5,053	1.7	11.7	0.65
韓国・台湾	4,093	▲ 2.2	10.3	4,380	▲ 6.0	9.6	4,250	▲ 5.3	9.8	0.94
その他	5,988	10.9	15.1	7,595	13.5	16.6	6,652	2.0	15.4	0.59

は、2ヶ月連続で前年比10%以上プラス。

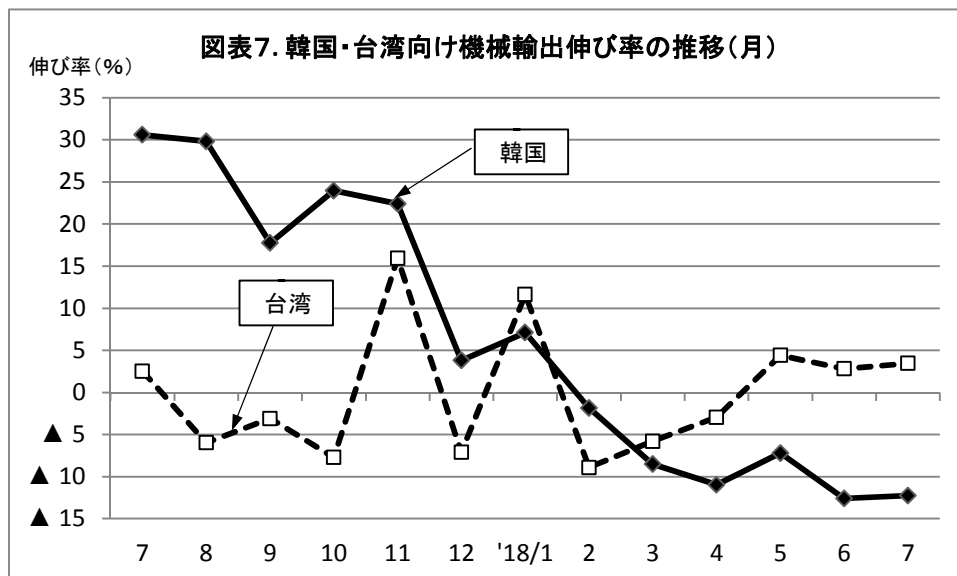


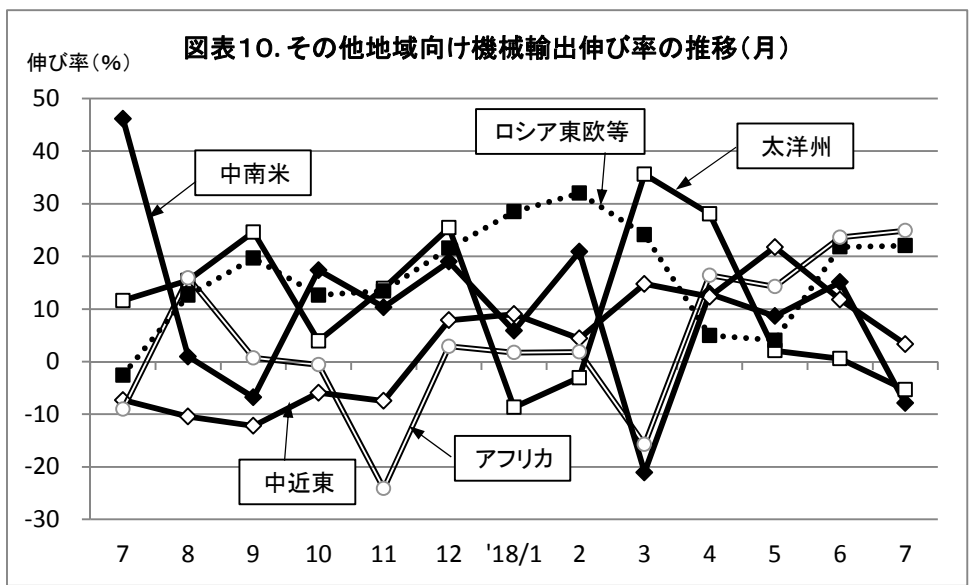
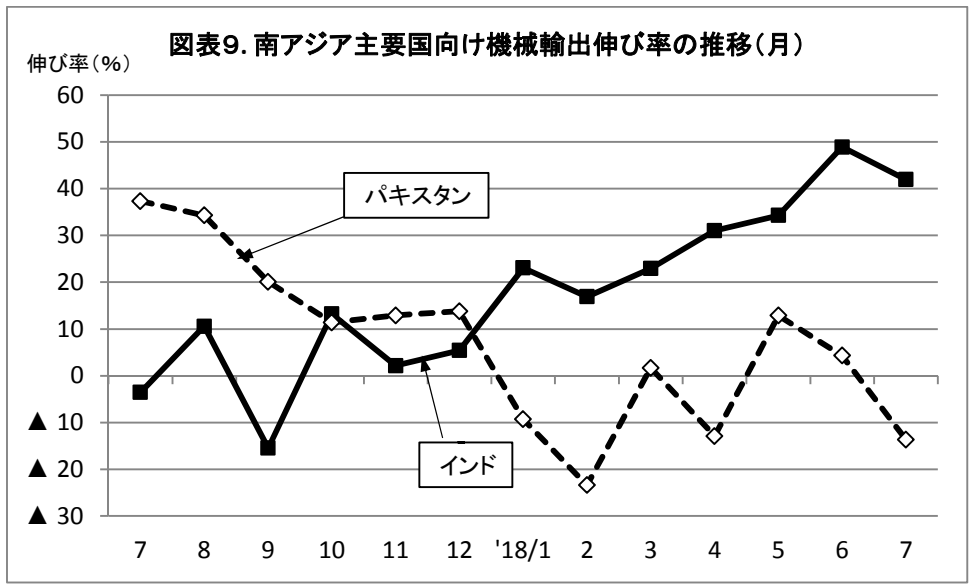
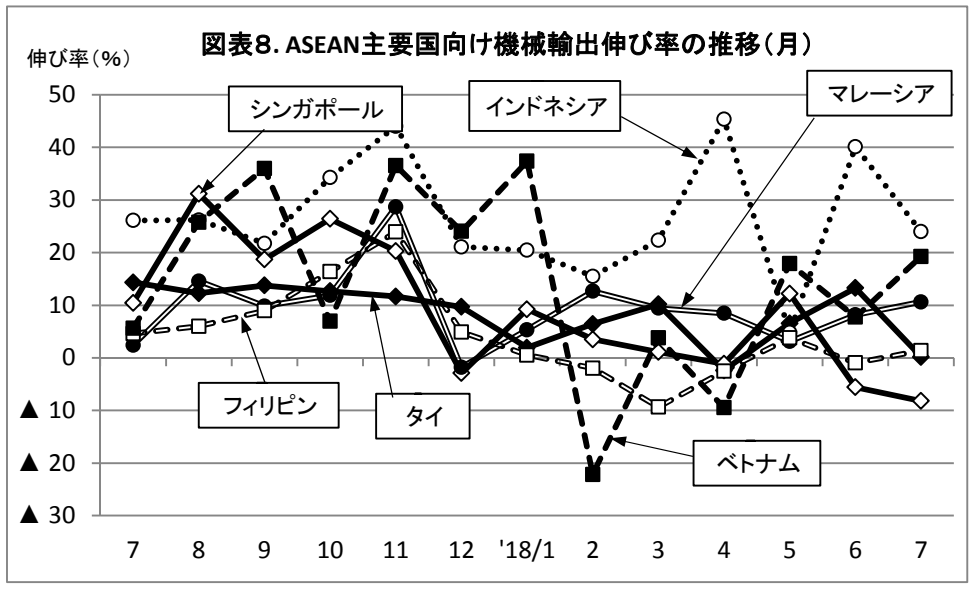
図表6. 韓国・台湾/ASEAN・南アジア/その他地域向け機械輸出の推移(月別)

(金額単位: 億円、%)

国名	2018/4		2018/5		2018/6		2018/7	
	金額	伸び率	金額	伸び率	金額	伸び率	金額	伸び率
韓国	2,227	▲ 11.0	2,208	▲ 7.2	2,335	▲ 12.6	2,200	▲ 12.3
台湾	1,925	▲ 3.0	1,885	4.4	2,046	2.8	2,050	3.5
ASEAN・南アジア								
タイ	1,574	▲ 2.4	1,481	6.6	1,784	13.3	1,662	0.2
シンガポール	1,000	▲ 1.1	1,004	12.2	902	▲ 5.6	882	▲ 8.2
インドネシア	976	45.4	686	4.8	957	40.1	980	24.0
マレーシア	674	8.5	632	3.1	715	8.2	745	10.6
フィリピン	659	▲ 2.5	654	3.8	687	▲ 1.0	692	1.4
ベトナム	639	▲ 9.5	709	17.9	778	7.7	793	19.2
インド	499	31.0	478	34.3	613	48.9	574	41.9
パキスタン	164	▲ 12.9	171	12.9	160	4.3	146	▲ 13.7
その他地域								
中南米	2,163	12.9	1,849	8.7	2,497	15.1	2,084	▲ 7.9
中近東	1,577	12.3	1,374	21.8	1,764	11.8	1,409	3.3
大洋州	1,540	28.1	1,181	2.1	1,379	0.5	1,374	▲ 5.3
ロシア東欧等	1,238	5.0	1,012	4.1	1,206	21.8	1,199	22.0
アフリカ	522	16.4	486	14.2	695	23.6	591	24.9

▲は、2ヶ月連続で前年同月比プラス(10%以上)





(4)業種別動向～21業種中14業種がプラス。うち建設機械等3業種が二桁の増加～

1)業種別では、産業機械(3.9%増)、電子デバイス(7.9%増)をはじめ14業種がプラスとなり、前月に比べて2業種減少した。そのうち、建設機械(16.4%増)、鉄道車両(17.7%増)、産業車両(12.3%増)の3業種が二桁の伸びとなり、機械全体では1.6%増となった。

2)リーマンショック前の水準を超えたのは鉄道車両、航空機部品、軽機械、医療機械、ベアリング、繊維機械の6業種となった(6月は11業種)。他方、電子計算機、民生用電子機械が40%台の低い水準にある。

図表11 上位21業種の輸出額の動き

(単位:億円、%)

2018/5				2018/6				2018/7				対08/7 比
業種名	金額	伸び率	シェア	業種名	金額	伸び率	シェア	業種名	金額	伸び率	シェア	
自動車	13,166	7.9	33.2	自動車	15,560	2.4	34.1	自動車	14,876	▲1.5	34.4	0.84
産業機械	7,814	9.6	19.7	産業機械	8,368	5.9	18.3	産業機械	7,975	3.9	18.5	0.98
電子デバイス	3,183	8.1	8.0	電子デバイス	3,551	8.9	7.8	電子デバイス	3,629	7.9	8.4	0.82
軽電気機械	2,281	10.6	5.7	軽電気機械	2,590	5.6	5.7	軽電気機械	2,507	4.4	5.8	0.97
重電気機械	1,993	10.4	5.0	重電気機械	2,301	9.8	5.0	重電気機械	2,274	9.7	5.3	0.96
軽機械	1,624	11.1	4.1	船舶	1,841	14.4	4.0	軽機械	1,741	5.5	4.0	1.26
民生用電子機械	1,378	14.1	3.5	軽機械	1,833	5.0	4.0	民生用電子機械	1,516	7.6	3.5	0.48
建設機械	1,214	16.9	3.1	民生用電子機械	1,517	10.1	3.3	建設機械	1,238	16.4	2.9	0.78
光学機械	1,120	▲10.3	2.8	建設機械	1,402	18.9	3.1	光学機械	1,218	▲5.0	2.8	0.90
船舶	1,041	▲38.8	2.6	光学機械	1,243	▲3.9	2.7	船舶	1,085	▲25.4	2.5	0.61
工作機械	743	6.7	1.9	工作機械	937	18.2	2.1	工作機械	851	4.6	2.0	0.93
航空機部品	702	7.5	1.8	航空機部品	710	▲3.2	1.6	航空機部品	670	▲4.7	1.6	1.79
通信機械	520	18.1	1.3	医療機械	529	12.3	1.2	通信機械	540	▲3.5	1.3	0.63
医療機械	433	12.8	1.1	通信機械	498	▲4.7	1.1	医療機械	481	3.7	1.1	1.15
陸用内燃機関	425	16.9	1.1	陸用内燃機関	477	20.6	1.0	電子計算機	455	1.4	1.1	0.47
ベアリング	393	8.4	1.0	ベアリング	445	1.7	1.0	ベアリング	430	0.8	1.0	1.10
電子計算機	369	▲6.9	0.9	電子計算機	436	▲2.6	1.0	陸用内燃機関	421	5.6	1.0	0.97
繊維機械	218	14.0	0.5	農業機械	224	26.8	0.5	繊維機械	191	▲7.3	0.4	1.07
農業機械	198	15.7	0.5	繊維機械	193	▲19.8	0.4	農業機械	178	▲6.8	0.4	0.87
鉄道車両	163	▲11.6	0.4	鉄道車両	168	16.1	0.4	鉄道車両	147	17.7	0.3	1.84
産業車両	114	10.6	0.3	産業車両	131	11.7	0.3	産業車両	137	12.3	0.3	0.52
21業種合計	39,091		98.4	21業種合計	44,953		98.5	21業種合計	42,562		98.5	0.86

は2ヶ月以上連続で10%以上増加。・産業機械:半導体製造装置、印刷・製本機械、風水力機械、タービン
 ・民生用電子機械:デジカメ、TV、部品 ・電子計算機:パソコン、HDD・プリンター等部品 ・軽機械:試験・検査機、理化学用機器
 ・軽電気機械:白物家電、電子計測器、配電機器、電池 ・光学機械:その他の光学機器(半導体検査装置、レーザー等)、カメラ部品
 ・通信機械:通信機械部分品、受信変換・その他送受信機器

(5)機種別動向～鉄道車両、コンデンサー等部分品、建設機械等が増加、船舶等が大幅減～

1)10%以上の伸び率を示したのは8機種で、①EU向け**鉄道車両**(17.7%増)、②中国、北米、ASEAN・南アジア向け**コンデンサー等部分品**(17.2%増)、③北米、その他地域、EU向け**建設機械**(16.4%増)、④中国、韓国・台湾向け**半導体製造装置**(13.7%増)、⑤中国、ASEAN・南アジア向け**電気・電子計測器**(13.0%増)、⑥北米、中国向け**電池**(12.4%増)、⑦その他地域、ASEAN・南アジア向け**産業車両**(12.3%増)、⑧中国、ASEAN・南アジア、北米向け**試験・検査機**(10.7%増)であった。

2)一方、最も落ち込み幅が大きいのが、船舶(25.4%減)、通信機械部分品(19.8%減)、産業用ロボット(12.6%減)等であった。

図表12. 伸び率上位機種(月50億円以上、前年比伸び率10%以上、10機種以内) (単位:億円、%)

2018/5			2018/6			2018/7		
機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率
電動機	180	25.8	発電機	87	36.4	鉄道車両	147	17.7
半導体製造装置	2,331	23.4	原動力機械	449	29.5	コンデンサー等部分品	972	17.2
コンデンサー等部分品	812	23.3	農業機械	224	26.8	建設機械	1,238	16.4
電池	484	22.5	陸用内燃機関	477	20.6	半導体製造装置	2,203	13.7
電気・電子計測器	427	20.0	建設機械	1,402	18.9	電気・電子計測器	462	13.0
TV	97	19.4	工作機械	937	18.2	電池	528	12.4
通信機械部分品	217	19.1	電気・電子計測器	503	16.2	産業車両	137	12.3
建設機械	1,214	16.9	鉄道車両	168	16.1	試験・検査機	635	10.7
陸用内燃機関	425	16.9	コンデンサー等部分品	889	14.9	機種合計	6,322	*14.6%
農業機械	198	15.7	電動機	203	14.8			
機種合計	6,385	*16.1%	機種合計	5,339	*11.7%			

は、2ヶ月連続で上位機種 *機種合計の%は輸出額に占める割合
 通信機械部分品:ゲートウェイ、ルーター等 受信変換・その他送受信機器:ルーター、LANスイッチ等ネットワーク関連機器

図表13. マイナス伸び率上位機種(月10億円以上、10%減以上、10機種以内)(単位:億円、%)

2018/5			2018/6			2018/7		
機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率
船舶	1,041	▲ 38.8	産業用ロボット	185	▲ 20.9	船舶	1,085	▲ 25.4
発電機	59	▲ 33.2	通信機械部分品	165	▲ 19.9	通信機械部分品	209	▲ 19.8
原動力機械	306	▲ 22.4	繊維機械	193	▲ 19.8	産業用ロボット	185	▲ 12.6
金属加工機械	224	▲ 16.1	受信変換その他送受信機器	100	▲ 18.6	機種合計	1,479	* 3.4%
その他の光学機器	906	▲ 13.8	機種合計	642	* 1.4%			
鉄道車両	163	▲ 11.6						
機種合計	2,699	* 6.8%						

は、2ヶ月連続でマイナス上位10位内 * 機種合計の%は輸出額に占める割合

(6) 機械輸入動向～航空機・部品等、自動車部品、乗用車等がプラス～

- 7月の機械輸入伸び率は8.2%増と再びプラスとなった。上位12機種のうち10機種がプラスとなり、そのうち航空機・部品等(40.3%増)、携帯電話(19.0%増)、乗用車(32.2%増)等5機種が二桁のプラスであった。マイナスとなったのは、電子計算機(10.3%減)、その他の配電制御装置(5.0%減)の2機種であった。
- なお、輸入額が輸出額を上回っている機種は金額順に電子計算機、航空機・部品等、携帯電話、白物家電、医療機械、配電機器、受信変換その他送受信機器、時計、TVの9機種となっている。
- 地域別機械輸入額は、全体の38%を占める中国(6.8%増)、ASEAN・南アジア(6.9%増)、EU(26.5%増)、北米(3.3%増)、韓国・台湾(1.9%増)、その他地域(6.0%増)の順であった。

図表14. 機械輸入額上位12機種

(単位:億円、%)

2018/5				2018/6				2018/7			
機種名	金額	伸び率	シェア	機種名	金額	伸び率	シェア	機種名	金額	伸び率	シェア
電子デバイス	2,312	10.9	10.8	電子デバイス	2,247	▲ 3.6	11.2	電子デバイス	2,487	3.3	11.5
航空機・部品等	1,741	104.6	8.1	電子計算機	1,560	▲ 24.6	7.8	電子計算機	1,792	▲ 10.3	8.3
電子計算機	1,657	▲ 5.8	7.7	航空機・部品等	1,240	8.9	6.2	航空機・部品等	1,609	40.3	7.5
自動車部品	1,225	11.7	5.7	自動車部品	1,217	3.8	6.1	自動車部品	1,273	6.0	5.9
乗用車	1,184	7.4	5.5	乗用車	1,077	8.1	5.4	携帯電話	1,143	19.0	5.3
携帯電話	1,056	4.2	4.9	携帯電話	995	▲ 5.4	5.0	乗用車	1,041	32.2	4.8
白物家電	894	5.7	4.2	白物家電	894	8.9	4.4	白物家電	852	11.2	3.9
医療機械	639	2.1	3.0	医療機械	616	▲ 2.8	3.1	医療機械	658	3.2	3.1
配電機器	615	9.0	2.9	配電機器	603	4.2	3.0	配電機器	610	4.6	2.8
受信変換その他送受信	529	▲ 7.5	2.5	受信変換その他送受信	550	▲ 16.6	2.7	受信変換その他送受信	594	4.2	2.8
風水力機械	424	24.7	2.0	半導体製造装置	455	13.0	2.3	その他の配電制御装置	417	▲ 5.0	1.9
その他の配電制御装置	421	3.8	2.0	その他の配電制御装置	391	▲ 8.2	1.9	コンデンサー等部分品	405	10.8	1.9
12機種合計	12,697		59.1	12機種合計	11,845		59.0	12機種合計	12,881		59.7

は対前年比が2ヶ月連続で10%以上増加。・白物家電:民生用電気機械

・受信変換その他送受信機器:ネットワーク関連機器 ・その他の配電制御装置:スイッチ、配電盤、制御盤等